

前提：地域医療構想は医療機関における自主的な機能分化と連携によって実現されるべきもの

平成30年2月7日付医政地発0207第1号  
「地域医療構想の進め方について」

都の対応

- 地域医療構想調整会議において合意した具体的対応方針について取りまとめること
- 取組状況の共有

従来通り、調整会議の実施結果を取りまとめ、「地域医療構想調整部会」において取組状況の共有や今後の方針について協議を行う

「新公立病院改革プラン」「公的医療機関等2025プラン」について協議を行うこと

平成30年度第1回の地域医療構想調整会議において、両プラン策定対象病院を中心に、「自院が地域において、どういう機能・役割を果たすか」についてプレゼンテーションを実施する予定

担うべき役割を大きく変更する病院等は今後の事業計画を策定し協議を行うこと

- 一定数以上の病床が下記に該当する医療機関は、地域医療構想調整会議において報告するよう周知予定
  - ・担うべき役割を大きく変更する病院
  - ・新たな病床を整備する予定の医療機関
  - ・開設者を変更する医療機関
  - ・地域医療構想推進事業を活用し病床の整備を進める医療機関 等

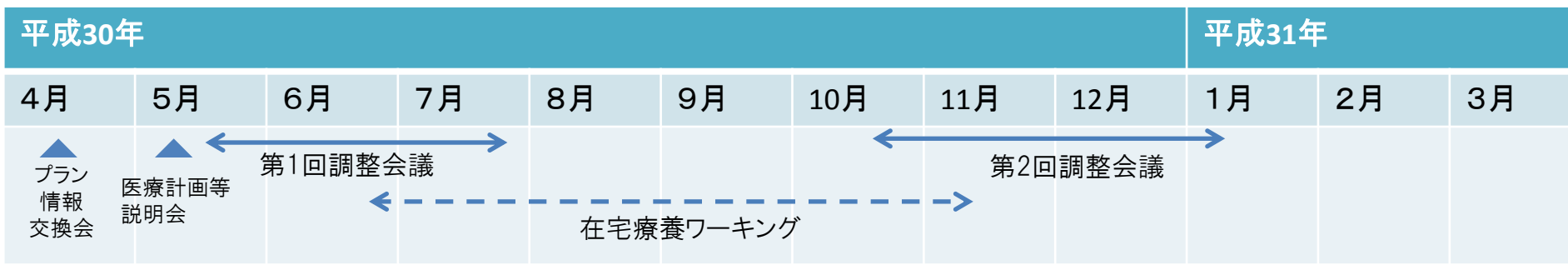
【調整会議における説明を求めるもの】

- ・病床が全て稼働していない病棟を有する医療機関
- ・新たな病床を整備する予定の医療機関
- ・開設者を変更する医療機関

- 病床全てが稼働していない病棟を有する医療機関に対し、病床を活用するよう、活用予定がない病床については返還するよう求める予定

- ・年4回調整会議を実施すること
- ・より多くの医療機関の主体的な参加が得られるよう進めること

- 平成30年度も昨年度どおりのスケジュールで実施予定
  - 5月～7月：第1回地域医療構想調整会議
  - 夏～秋：在宅療養ワーキング
  - 11月～1月：第2回地域医療構想調整会議



平成30年度調整会議の狙い： 地域における医療機関ごとの機能・役割の見える化

第1回調整会議

5月～7月開催予定（区部：東京都医師会館 多摩：多摩地域の貸会議室）

- <実施内容(予定)>
- 報告—
  - 平成29年病床機能報告結果報告（クロス集計）
  - 担うべき機能を大きく変更しようとする医療機関等について
  - プレゼンテーション及び意見交換—
  - 公立病院改革プラン・公的医療機関等2025プランについて
    - ・平成29年度までの調整会議での意見交換内容を受け、地域でどのような役割を担っていくのか
    - ・役割を発揮するため、地域の病院等（回復期・慢性期機能／在宅を担う医療機関等）に対し望むこと

第2回調整会議

10月～1月開催予定（全地域：東京都医師会館）

- <実施内容(予定)>
- 報告—
  - 担うべき機能を大きく変更しようとする医療機関・新たな病床整備を希望する医療機関等について
  - グループワーク—
  - 自院の地域における役割を踏まえた上で、他の医療機関（公立病院・公的医療機関等2025プラン策定病院等）に対し望むこと

協議内容と議論の進め方のイメージ

①現状把握

地域の医療の現状(供給)を把握する

《H28調整会議》

- 病床機能報告から見る「現状」
- グランドデザインと現状の比較

病床機能報告結果等のデータから地域の今の状況について意見交換

《地域医療に関するアンケートの実施》

②課題抽出

構想で示された将来の医療需要推計や将来の医療の姿も参考に地域の課題を考える

《H29①調整会議》

- データ/アンケートから見る構想区域の現状
- （地域の医療の現状について共有し、検討すべき課題・機能について議論）

③解決に向けた検討

抽出した課題の解決に向けた方策や、各医療機関が果たすべき役割を担うための方策を検討する

《H29②調整会議》

- 解決に向けた検討

構想区域ごとに抽出された課題の解決に向けた方策や、各医療機関が果たすべき役割を担うための方策を検討

④進捗状況の共有

病床の機能分化・連携や基本目標の達成状況に関する進捗状況を共有する

★ <各医療機関>

自主的な機能分化・連携の取組  
(病床機能のあり方・担うべき役割の検討)